

2010年を迎えました。今年も大隈記念館をよろしくお願ひします。今年は大隈侯が明治3年(1870)に参議(当時の最高官僚)になられてから140年という節目でもあります。改めて大隈侯の功績を再認識し、幅広く大隈侯を知っていただけるよう、記念館としてもさまざまな活動を行って行きたいと思っています。

## 大隈侯89回忌法要が営まれました

大隈重信侯の命日である1月10日(日)に89回忌法要が大隈家菩提寺である龍泰寺で営まれました。佐賀稲門会の方々を初め、40名にのぼるご参列をいただきました。毎年、命日には法要を営み、龍泰寺本堂と境内にある大隈侯のお墓で読経し、遺徳を偲んでいます。

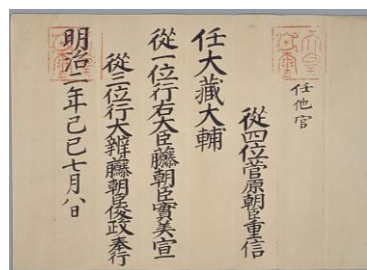
この龍泰寺では大隈侯の遺髪と切断された足が安置されています。



## 大隈侯 記念硬貨のテーマに!!

地方自治法60周年記念貨幣が平成20年より約8年間に渡って47都道府県ごとのデザインをあしらった硬貨(1,000円と500円の2種類)で発行されています。この度、平成22年度後半の発行県として佐賀県分の図柄での発行が決定しました。佐賀県分の図柄のメインテーマは、「大隈重信侯とその功績」です。具体的なデザインの決定時期や硬貨の発行時期は現時点においては未定ですが、『円の生みの親大隈侯』が貨幣のテーマになることは喜びに絶えません。

この記念貨幣発行決定を記念して、2月20日(土)より当館で行われる企画展にあわせて、財政金融を司る実質上の最高責任者となった「辞令 任大蔵大輔」をはじめとした早稲田大学図書館所蔵の大隈侯と貨幣制度に関する資料を数点展示します。ぜひご覧ください。



「辞令 任大蔵大輔」



「流通新貨幣位付早見」

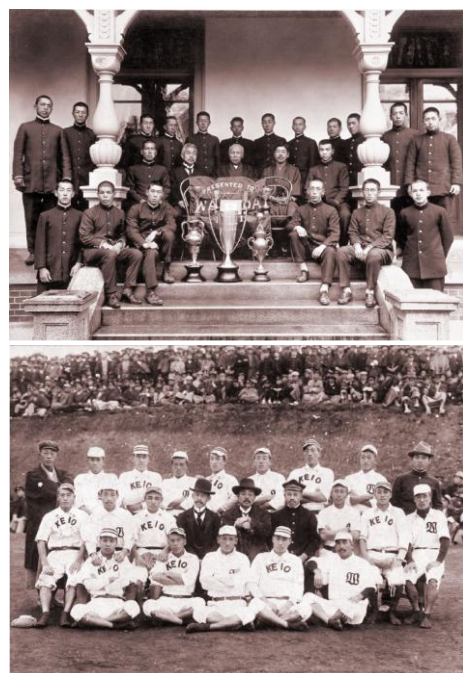
## 企画展「最後の早慶戦～大隈重信と野球～」開催

毎年、佐賀城下ひなまつりにあわせて企画展を開催しています。今年も2月20日(土)から3月28日(日)まで開催します。今回は「最後の早慶戦～大隈重信と野球～」と題してお届けします。

明治34年(1901)に早稲田大学野球部は創立されました。大隈侯は野球部のアメリカ遠征に支援するなど、野球と深く関わっていました。

また、現在も熱戦を繰り広げている早慶戦。はじめたのは明治36年(1903)でした。以降、中止も何度かありましたが、毎回のように熱戦を繰り広げられ、熱狂的な観客であふれていました。そうした中、太平洋戦争に突入り、学生たちも出征せざるを得なくなりました。この時にもう一度早慶で野球をしたい、こうした思いではじめられたのが最後の早慶戦でした。

今回の展示では、当時の写真やユニフォームをはじめ、戦時体制時の文献資料も展示いたします。この機会にぜひご覧ください。



# 早稲田大学大学院の佐賀人材育成講座の閉講式が行われました



昨年 10 月から当館において行われていた早稲田大学大隈記念大学院公共経営研究科佐賀地域人材育成プログラムが 12 月で終了し、閉講式が行われました。

3 ヶ月にわたって行われた講座は、大学院教授等による対面授業の他、ネット回線を使いテレビカメラを通じて、東京から講義を行ったり、学生と討論するなど、様々な形で最先端の講義が行われました。また、来年度もさまざまな形で講義が行われる予定となっています。

## ボランティアグループまきの会通信！

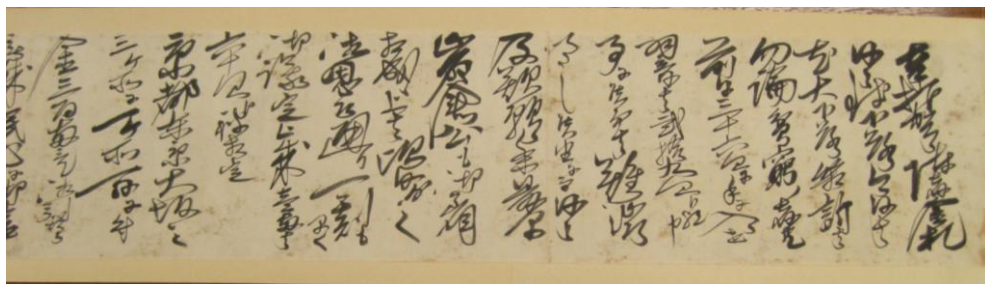
バルーンフェスタの生家一般公開にあわせて生家でガイドをしていただきました。ガイドだけでなく、紙芝居やバルーンの折り紙教室なども行い、期間中は県内外から多くの方が来られました。また 11 月に「元気もんフェスタ」（市民活動団体の交流会）にも参加し、会の皆さんが大隈侯について勉強されたことを広用紙に書き、わかりやすく大隈侯について紹介し、またクイズや紙芝居も行い、大隈侯の PR に一役買っていただきました。

2 月 20 日(土)から 3 月 31 日(水)のひな祭り期間中は大隈重信侯生家を一般公開しています。公開中の土・日曜はまきの会が生家をご案内いたします。会の皆さんならではの面白い話も聞けますよ。クイズや紙芝居もします。ぜひ足をお運びください。



## 収蔵資料の紹介 「島義勇書翰 大隈重信宛」

今回紹介する資料は七賢人の一人、島義勇が大隈侯宛に送った書翰です。島は佐賀精小路出身で、藩命により蝦夷・樺太の探検を行い、後に北海道の開拓に深く関わりました。その後秋田県令にもなりましたが、明治 7 年に江藤新平とともに佐賀の乱を起こし、捕らえられて処刑されました。



今回紹介するこの書翰は、金札の値段が下落しているもので、早急にその対策を講じるように述べたものです。日付は 4 月 25 日とあるだけですが、「外国官へ御出勤」と書かれており、大隈侯が外国官と会計官の両副知事を兼任していた明治 2 年(1869)のものと考えられます。



## 記念館よりお知らせ

### 記念館雨漏り工事について

12 月から行っていました記念館の天井の漏水工事は、2 月 15 日で終了予定です。工事期間中は記念館内の見学はできず、生家のみのお見学となり、大変ご迷惑をおかけしました。

### 臨時休館について

2 月 16 日から 19 日まで、企画展準備作業に伴い、臨時休館とさせていただきます。

